



こねこ奥さん



大丸エンポウオン 株式会社

「こんにちわ奥さん」係

〒559-0022

大阪市住之江区緑木1-4-39

TEL.06(6685)5101

予約 0120-093-025

※ <http://living-poppo-garden.jp/>

「はじめて」
「こんにちわ奥さん」係から

「空前のネコブーム」と言われ出したのは平成26年末ごろから。ネコ関連グッズや写真集などの書籍売上がもたらす経済効果は、ある試算では年間約2兆3162億円(平成27年)。このネコブームによる経済効果を、安倍晋三首相が唱える「ネコノミクス」というそうです。テレビではネコを特集した番組が流れ、芸能人が飼うネコが紹介されたりします。飼っている人にとって、ネコはペットというよりも家族です。ネコほど人に愛玩されている動物はないでしょう。



サバトラ猫

今回から、ぼっぱ百科でネコを取り上げます。何回かのシリーズになります。意外な歴史、ネコが引き起こす問題点などにもふれたいと思います。ネコ嫌いの人も一読をお願いします。

日本のネコは、被毛の色と模様で区別して呼びます。トラネコは縞模様があるネコの総称です。色が雉に似ているのはキジトラ、鯖に似ているのはサバトラ、茶色は茶トラと呼ばれます。白い毛色が混じると「茶トラ白」などと区別することもあります。被毛の色は、白、黒、白黒、三毛、サビなど。外国のネコに目を向けると、被毛の色だけでなく、無毛のスフィンクス(実際には短い産毛がある)、長毛のペルシャ、短い脚のマンチカン、折れ曲がった耳が特徴のスコティッシュフォールドなど、実にバリエーションに富んでいます。

毛色の謎 ネコの風景①



これに対して、トラ、ライオン、ヒョウなど他のネコ科は被毛の色や模様が、ホワイトタイガーといった例外を別にすれば、単一。何故、ネコだけが多様なのでしょうか。理由は、ヒトがネコを保護したからです。白いトラが生まれても、目立つためネコが上手にいかず、生き残り

には多様性が生じにくいのです。ちなみに、トラの被毛は黒と黄色の補色だから、目立つと思われるかもしれませんが、絵では黄色でも、実際は薄い茶色です。あの模様は意外に目立ちません。ヒトに飼われてきたネコは、毛色が変わった個体が生まれても、珍重されることはあっても、殺されたりすることはありません。スコティッシュフォールドは折れ曲がった耳のネコが家に迷いこみ、これを保護したのが起源だそうです。人為的な交配で生まれた新種のネコも多いのです。

野生のネコ科の動物が、トラを筆頭に絶滅の危機にある中、ネコだけは繁栄しています。その理由は、ネコの被毛が多様であるのと同じで、ヒトが保護したから。次回はネコの歴史、ネコとイヌには共通の祖先が。

入浴と健康②

入浴で夏バテ撃退



〈夜はぬるめの入浴でリラックス、朝はシャワーでシャキッと〉

夏、暑い屋外と冷房の効いた室内の出入りが多いと体温を調節する自律神経が乱れます。夏バテの主な原因です。自律神経とは交感神経と副交感神経の総称で、交感神経が優位だと活動的に、副交感神経が働くときリラックスします。夏バテ対策には、自律神経のバランスを整えることが大切です。ぬるめの湯につかると副交感神経が優位になりリラックス効果でよく眠れ、夏バテ対策になります。夏の入浴はシャワーだけでなく、ぬるめの湯に15分、これがおすすめの入浴法です。冬でも汗が出ますので、水分補給を忘れずに。一般に適温とされる42°~43°は熱すぎて交感神経が急激に動き血管が収縮し、危険でさえあります。

逆に朝は、これから活動しなければなりませんから、交感神経を刺激します。朝のシャワーは、コーヒーより目覚め効果が高いといわれます。最初はぬるめ、徐々に熱く。これが交感神経を活性化させるシャワーの浴び方のコツ。